

論文作成法 (2 単位)

担当者氏名 小川 博・佐々木 剛・松林尚志・増田宏司・土田あさみ・宮本 太・御影雅幸・三井裕樹・
小池安比古・松嶋賢一・太田光明・川嶋 舟・内山秀彦・浅野房代・藤岡真実

◆学習・教育目標 (到達目標を記載)

研究成果を教員の指導の下、論文執筆、投稿雑誌の選択、投稿、編集者や論文の審査員とのやりとりを経て論文化し、学術誌 (和文) に掲載されるまでの過程を経験する。研究者として必要な成果の論文による公表方法を修得することを目標とする。

◆取り扱う領域 (キーワードで記載)

野生動物学 伴侶動物学 植物共生学 人間植物関係学
動物介在療法学 植物介在療法学 学術論文

◆授業の進行等について

	テーマ	内 容	準備学習(予習復習)等の内容と分量
1	講義の進め方と概要	論文公表の意義	◎本講義は論文投稿を実際に経験することを目指すことから、論文を作成するための研究成果があることが前提となる◎指導された内容に従い、事前に資料や論文を準備すること。それを基にディスカッションを行い、指摘事項を修正すること
2	発表内容の検討	論文テーマ検討	
3	参考資料の収集	執筆に必要な参考論文等の収集と内容の理解	
4	アウトラインの作成	論文概要の検討	
5	共著者への対応	共著の場合、分担部分の調整	
6	投稿雑誌の選択	論文の投稿先の検討	
7	投稿規定の確認	投稿雑誌の投稿規定の理解	
8	本文執筆 (1)	図表作成、投稿規定に則った書式の確認	
9	本文執筆 (2)	本文執筆、投稿規定に則った書式の確認	
10	本文執筆 (3)	投稿規定に則った書式による原稿の作成	
11	投稿	電子投稿、郵送等規定に則った媒体による原稿の送付	
12	審査結果への対応 (1)	査読結果の理解と対応の検討	
13	審査結果への対応 (2)	論文の修正、反論等、論文の受理まで対応	
14	原稿の校正	校正用原稿の校正方法	
15	総括	報告書の作成	

◆教科書及び資料 (授業前に読んでおくべき本・資料)

書名／著者／発行所 (発行年)
適宜, 必要に応じて指示する。

◆授業をより良く理解するために便利な参考書・資料等

書名／著者／発行所 (発行年)
適宜, 必要に応じて指示, または配付する。

◆評価の方法 (レポート・小テスト・試験・課題等のウェイト)

上記の指導を 15 コマ以上受け、論文が筆頭著者として受理された場合にその過程を評価する。

◆オフィスアワー

毎週月曜日と火曜日の 2 限に研究室で質問等を受け付ける (小川担当)

◆その他受講上の注意事項

受講は教員と相談の上で行うこと。教員の指導と指導に対する対応等の記録を月報として提出し、承認を受けること。投稿雑誌は査読のある学術誌とする。